

2022 年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 NPO 法人青少年の自立を支える会シオン

代表者・役職名 氏名 理事長 水野 洋

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

老朽化したホームの修繕及び居室の鍵取り付け事業

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

前身である NPO 法人子どもの研究所より、家族経営からの脱却を旗印に外部の実力者を迎え入れ、平成 22 年新たに法人を設立しました。現在 3 ホームを運営しております。入居定員は 20 名となっております。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

築 30 年を超える物件をホームとして活用しており、老朽化も伴って、大変住みづらくなっております。今回は子ども達を迎い入れるそして、送り出す玄関が修繕箇所となっており、早急な修繕を行う必要があると考えています。また、心理学の観点から、居室のドアに鍵つける改修を職員が行ってきましたが、残る 2 か所はドアがしっかりとおり、素人では難しいものとなっております。また、職員が設置いたしました間仕切りが、浴室のドアに干渉しており、入居児童の生活の妨げとなっております。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

○ホームの玄関及び階段下の床の老朽化に伴う修繕工事(老朽化している玄関及び階段下の床の修繕)○居室ドアに鍵設置工事(個室 2 か所のドアに鍵を取り付ける工事)○間仕切りの改修工事及び浴室のドアの入れ替え工事(女兒の入居に伴い、職員が設置した間仕切りの改修工事及びそれに干渉している浴室ドアの入れ替え工事)

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

老朽化所の修繕及び、鍵の取り付けにより、安心・安全なホーム環境を提供することで、子どもたちのよりよい自立に繋がると考えております。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

安全で安心な環境を提供することで、子ども達がよりよい自立に近づけると考えております。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

